

# 社会福祉法人全国社会福祉協議会 全国ホームヘルパー協議会

## 第1弾オンラインサロン～ICTの活用に向けた意見交換・情報交換会～

### 開催要項

#### 1. 趣 旨

- 現在、国においては、介護現場における事務負担の軽減や労働環境の革新等に向けたさまざまな施策や対応を図っている。具体的には、厚生労働省では地域医療介護総合確保基金が、経済産業省ではICT導入補助金がそれぞれ創設されており、訪問介護事業所についても上記補助金を活用し、介護従事者の確保に関する事業等を実施する際に、補助を受けられるようになっている。
- 訪問介護事業所においては、こうした補助金の活用や独自財源でICTの活用を進めている事業所がある一方、補助金の存在に関する情報が十分に届いていない、機器を整備するための基盤がない、職員の年齢が高いため導入したとしても使いこなすことがむずかしい等の理由により、なかなか活用が進んでいない事業者も多い。
- そのため、本サロンでは、ICTを活用し、業務効率化や職場環境の改善・向上に取り組んでいる訪問介護事業所に実践報告をいただくとともに、参加者同士で意見交換や情報交換を行うこと、そして、自事業所における今後のICT活用のヒントを得ていただくことを目的として開催するものである。

#### 2. テーマ

ICTの活用に向けた意見交換・情報交換会

#### 3. 実施日時

令和2年12月10日（木） 13時30分～15時10分

#### 4. 実施方法

zoomによるオンライン配信

#### 5. 参加対象

全国ホームヘルパー協議会会員、道府県ホームヘルパー協議会会員  
会員外の訪問介護員

#### 6. 参加定員

200名（先着順）

#### 7. 参加費

無 料

#### 8. 申込方法

全国ホームヘルパー協議会のホームページやメール等に記載した「グーグルフォーム」を通じて申し込みされた方に、オンライン会議のURL、ID、パスワードを送ります。

申込フォーム：<https://forms.gle/QnCFpJhg3GLkM4UDA>

## 9. プログラム案

時 間	内 容	備 考
13時30分～ 13時35分 (5分)	<u>開会挨拶・趣旨説明</u>	神谷 洋美 会長 事務局
13時35分～ 13時55分 (20分)	<u>事例報告①</u> 「全ヘルパーへのスマホ支給を通じた業務効率化とサービスの質の向上」 (札幌市社会福祉協議会 介護事業課長 山田 剛 氏)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・スマホ支給の経緯</li> <li>・スマートフォン研修の実施</li> <li>・サービスの質や利用者の変化</li> <li>・今後の展望</li> </ul>
13時55分～ 14時15分 (20分)	<u>事例報告②</u> 「訪問介護計画書の作成から報酬計算までの一元化システムの導入」 (熊本市社会福祉事業団 中央ヘルパー事業所 田尻 亨 氏)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・導入の経緯</li> <li>・導入前と導入後での変化</li> <li>・サ責の業務負担の変化</li> <li>・今後の展望</li> </ul>
14時15分～ 14時30分 (15分)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・コメンテーターからの意見や感想</li> <li>・事務局から質問</li> </ul>	コメンテーター 神谷 洋美 会長
14時30分～ 15時10分 (40分)	<u>【20分】ブレイクアウトセッション</u> <ul style="list-style-type: none"> <li>・Zoom上で小グループ作成(4名程度)</li> <li>・自己紹介(ひとり1分程度)</li> <li>・自事業所の問題意識や取り組み、質問したいことを共有</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・報告をふまえたうえで、参加者がICTの活用で悩んでいること等を共有していただく</li> <li>・zoomの機能(ブレイクアウトルーム、チャット等)に実際に触れてもらうことで、今後の参考にしてもらう</li> </ul>
	<u>【20分】共有・コメント</u> <ul style="list-style-type: none"> <li>・グループごとに共有したことを、チャットに投稿</li> <li>・コメンテーターと報告者は、チャットで気になる発言を取り上げ、適宜コメントを行う</li> </ul>	

## 10. 申込期限

令和2年12月3日(木) ※定員になり次第申込を締め切ります

## 11. 今後の企画

第2弾：コロナ禍をふまえた訪問介護事業所における感染症対策(令和3年1月予定)

第3弾：その人らしい最期を迎えるために～看取りケアの実践～(令和3年2月予定)